

CONTENTS

- メディカルスタッフのための疾患講座
筋ジストロフィーと摂食嚥下障害 野崎園子 130

- メディカルスタッフのための嚥下ケア講座
フローチャートを使用した看護師による摂食嚥下機能スクリーニングの取り組み
..... 中村みゆき, 唐帆健浩 135

- 私の治療方針
頸椎損傷における嚥下障害
症例提示  二藤隆春 142
リハビリテーション科医の立場から 井口はるひ 144
言語聴覚士の立場から 高木大輔 146
実際に行った治療と経過 二藤隆春 150

- 私の術式
音声を犠牲にしない誤嚥防止術
梅崎俊郎の術式  梅崎俊郎 153

- 知っておきたい嚥下訓練 呼吸リハビリテーション
小児のバンゲード法 (筋刺激訓練法) 弘中祥司 157

- 嚥下機能の評価法の検証
摂食嚥下機能スクリーニングツール Gugging Swallowing Screen の実際
..... 唐帆健浩 161

- ベーシックサイエンス
AI を活用した嚥下用 POCT 機器の実現に向けて 鈴木健嗣 166

- 1枚の写真  棚橋一雄, 他 171

- 書評
Assessing and Treating Dysphasia: A Lifespan Perspective 柴本 勇 173
パーキンソン病診療ガイドライン 2018 谷口 洋 173

緊急！新型コロナウイルス感染症（COVID-19）流行期における嚥下障害診療への注意喚起

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が拡大している。このウイルスは主として飛沫・接触によって伝播し、感染者の体内でもウイルス量が多いのは鼻腔・咽頭（上気道）である。また、エアロゾル発生手技による院内感染も報告されている。嚥下障害診療において、上気道粘膜との接触を伴う嚥下訓練や内視鏡下嚥下機能検査は、エアロゾル発生手技にあたり、感染リスクの高い診療行為である。医療資源の供給が不安定な現状のなか、医療の場での感染拡大を阻止することは、この困難な状況における我々医療者の使命の一つである。

日本嚥下医学会では、「感染傾向が拡大している地域」においては、
「非緊急の」上気道粘膜との接触を伴う嚥下訓練や内視鏡下嚥下機能検査は見合わせることを推奨する。

令和2年4月2日 日本嚥下医学会

診療 指針

- 新型コロナウイルス感染症流行期における嚥下障害診療指針
.....日本嚥下医学会 新型コロナウイルス感染対策委員会 174

原著 論文

- 健常高齢者における1回嚥下量を変えたときの舌骨上筋群と舌骨下筋群の筋活動量の変化—表面筋電図を用いた検討— 佐藤豊展, 他 189
- 咽喉頭異常感を主訴とした高齢者における自覚症状と嚥下機能との関係
..... 五島史行, 他 199
- 干渉波刺激療法の導入を契機に経口摂取を確立した脳梗塞慢性期の重度嚥下障害の1例 渡辺慶大, 他 204
- 医療・介護施設における窒息・誤嚥事故の訴訟事例の解析... 木村百合香, 他 213
- 声門閉鎖術後の代替コミュニケーションと経口摂取についての検討
..... 高橋美貴, 他 221

会告—— 125

日本嚥下医学会嚥下機能評価法研修会のご案内—— 125

新理事長あいさつ—— 126

動画サイトのご案内—— 129

投稿規定—— 228

投稿規定（英文）—— 230

バックナンバー—— 233

日本嚥下医学会入会申込書—— 235

日本嚥下医学会変更届—— 236

購読申込書—— 237

日本嚥下医学会の認定する嚥下相談医、嚥下相談員制度について—— 244

 : 動画配信付き